

練馬区立 石神井小学校 学校だより 今和4年度 学校評価号記述意見編

学校評価アンケート(保護者向け) 記述意見より

校長 関川 健

学校評価アンケートに際し、様々なご意見をいただきました。昨年度末に申し上げたことと関わりますが、 お名前を明らかにした上で貴重なご意見を寄せてくださったことに感謝いたします。全てを網羅できません が、できるだけ正対してお答えしたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

1 学校、教職員等への肯定的なコメント

- ○子どもの話を聞いていると、縦割り活動や委員会活動、異学年交流などの特別活動が活発に出来ていて素晴らしいなと思います。また、学習に石神井公園等の周辺の環境を生かしておられ、良いと思いました。 楽しく学校に通えているのも先生方のおかげと思っております。いつも本当にありがとうございます。
- ○今年度は社会科見学や遠足など、今までできていないような行事も行うことができて良かったです。
- ○いつも子どもたちのために一生懸命指導していただき本当に感謝しております。
- ○週に2度やそれ以上にも、クラスの様子を写真と共に知らせるお手紙を入れて下さっていて、たくさん知れて嬉しい事も事実ですが、頻度が多過ぎるのでは(先生の仕事量としても大変では)と思っています。
- ○日頃から他学年との交流がたくさんあるように感じています。近所で親が知らない上級生と名前を呼び合っているのを聞くと嬉しく思います。
- ○今年の展覧会がとても素敵でした。欲を言えばやはり毎年やって欲しいと思ってしまいます。子供たちも目がキラキラとしてとても誇らしげでした。
- ○欠席の連絡をするとすぐに、担任の先生から連絡がきて、様子を聞いてくださることも多く、気にかけてくださっていることが分かりとても心強かったです。感謝しています。
- ○いつもありがとうございます。まだ思うように活動できない中苦慮しながらも工夫して行事を企画してくださっているのがよく伝わってきます。先生方も生徒の気持ちを汲んでくださったり言葉を選んで丁寧に指導してくださったりしています。
- ○学校公開、保護者会など開かれた学校づくりをしていただき、子どもの普段の様子がわかり、安心できる機会を設けていただいていると感じておりますが、兄妹で時間が重なってしまい、両方見られないことが多々ありますのでご配慮お願いできたらありがたいです。
- ○着衣水泳「ういてまて」は他の学校の保護者の方に羨ましがられます。必要なことだと思うのでこれからも 続けて欲しいです。今年はコロナ前の学校生活になってきたなと思いました。遠足もすごく楽しかったと。
- ○長引くコロナ禍の中で、子供たちの学習を止めず、形を変えても行事を実施してくださり、ご尽力に感謝いたします。
- ○不安でいっぱいだった小学校生活もいい先生方と友達に恵まれ楽しく通えているようです。大事な所で引っ 込みがちな息子の気持ちを引き出す担任の先生の声かけにいつも感謝です。ありがとうございます。

- ○放課後学習教室にお世話になっています。三年生までの学習面に不安があったことや、信頼出来る先生方で あれば本人も違和感なく参加出来る事が良かったと思います。
- ○一度避難訓練を見ましたが、皆真剣に取り組んでいて良いなと思いました。
- ○毎日楽しそうに学校に通っております。いつもありがとうございます。
- ○息子にはとても合っている先生で、大きく成長が出来ていて安心しております。
- ○担任の先生は一生懸命やって下さっていると思っていますし学校もコロナから工夫しながら子ども達の活動を考えて下さっていると感じます。

たくさんの肯定的なコメントは、私たち教職員にとってやる気の源になります。ありがとうございました。また、毎月の学校公開の後のアンケートや運動発表会、展覧会等の行事の後のアンケートにもたくさんのご感想やご意見をいただいており、大変感謝しております。お子様の活躍や成長を喜んでくださっている様子や教職員の努力を肯定的に評価してくださっているコメントを多くいただいていることが、さらなるモチベーションとなっております。それらのアンケートに対するフィードバックをできなかったことは申し訳ありませんでした。

さて、コロナ禍も3年目となった令和4年度でしたが、年度当初を除けば練馬区のガイドラインも幾分緩くなった状況の中での教育活動でした。したがって、なるべく密を避ける工夫をしながら学校行事等も全て実施することができました。行事の実施方針としては、以下の通りでした。

- ・体育館で行う行事は最大300人までという制限をかけました。*ライブ中継を活用
- ・校庭での体育的行事は2学年ずつの入れ替え制にしました。*ライブ中継を活用
- ・学校公開は、普通教室には1クラス分の保護者の入れる余裕がないので、1授業につきクラスの半数までと しました。これは実質的な教室のキャパシティのため、今後も同じ方針となりそうです。
- ・校外学習は、電車に乗っての遠足、バスに乗っての社会科見学を戻すことができました。
- ・移動教室は、5・6年とも2泊3日で実施できました。*バス1台あたり30人の制限あり

来年度は、おそらく練馬区のガイドラインが更新され、教育活動に対する制限も一層少なくなると予想されます。そうすると、学校行事の多くが以前実施していた形態や内容に戻るのかと言うと、実はそうではありません。コロナ禍の3年間、石小は校舎改築、校庭改修とも重なり、コロナ以外の制約も多々ありました。その間に新学習指導要領の趣旨等も踏まえながら、様々なことを検討しながら試行錯誤してまいりました。今後はその検討結果も反映させながら、「戻す」ではなく新しく「創る」という考え方で学校行事を実施してまいります。どうかそこはご理解ください。

- 2 学校の体制、教育活動等へのご意見
- ○新任の先生が担任ですが、補助教員の方にサポートして頂きたかったです。授業の進み具合、宿題の出し方、学期末の過密なテストスケジュールなど疑問に思うことが多く、子供への負担も多いと感じております。主任の先生や他のクラスの先生ともっと連携を密にとって頂きたいです。 3 学期の学期末テストはあゆみに反映されるよう、テストスケジュールをしっかり組んで頂きたいです。
- ○新任でなくても先生お一人に 30 名前後の児童は、やはり先生への負担が大き過ぎると実感しております。担任の先生を 2 名に増やす、もしくは少人数制クラスに移行できるよう、保護者としても働きかけていきたいと感じております。
- ○授業の進め方について、新任の先生への学校のサポートが足りていないように感じます。 2 人担任にするな

ど、経験のある先生が新任の先生のクラスの状況(授業の教え方、宿題の量や出し方、テスト実施タイミングなどのスケジュール管理など)を細やかに把握し一緒にクラスを運営するような体制を築いていただきたいです。正直、他のクラスと教育にかなりの差があると実感しています。新任の先生は新任なりに頑張ってくださっている印象ですので、新任の先生の問題というよりは、学校のサポート体制が不足していることが問題なのではないかと思っています。

⇒新任教員への温かいご配慮に感謝いたします。ご心配をおかけしたり不安に感じさせてしまったりしたことは、全て学校の責任と痛感しております。校長としてももっとできることはあったかもしれないとも思っております。多くの保護者の皆様に教室に来ていただいて見守り指導をしていただいたことも感謝しております。そしてこれはとても重要なことだと思っております。

新任教員には研修制度がありまして、週に1時間指導教員(学年主任)が新任教員の授業観察を行い、指導しています。また、日頃から学級経営や校務に関する研修を計画的に実施しています。宿題等に関しても学年で方針を揃えて行っているはずですが、正直全て計画通りにはいかない所があります。子供たちの指導補助としては、学校生活支援員をほぼクラス専属に近い形で付けたり、しばしば管理職が教室に入ったりとできるサポートはしてきたつもりですが、十分な成果を感じていただけなかったのは残念です。また、都の人的配置として、余分な教員など一人もいませんし、担任2名体制など夢のまた夢です。しかしながら、今後も新任教員は毎年のように配属されるはずですから、できる限りの体制を作ってまいります。

- ○チーム担任制をもっと具体化してほしい。
- ○公開授業を参観して、先生が思い描いた流れになるように意識するあまり、生徒の自由な発想に柔軟に対応 できていないように感じました。テーマに逸脱していない限り、押さえつけるのではなく、もう少し、意見 は意見として汲み取って頂いても良いのではと感じました。
- ○算数の授業では、単元ごとに違う先生が受け持つ為、この先生は面白くてわかりやすい、等、先生によって 教え方の違いが特に気になるようです。
 - ⇒高学年担当の教員が教科を分担して全クラス授業するとか、単元ごとに分担するとか、方策は色々考えられますが、今の学校は決まった時間に来る講師や専科授業との兼ね合いで時間割の調整が極めて難しくなっています。可能で効果的と思われる方策は取り入れてまいります。算数授業の進め方(教え方)は、良いものはできるだけ共有していくスタンスでいきますが、教員個々の個性もありますので、様々な教員との出会いを楽しむことも必要かと考えます。
- ○ネットリテラシーなど、世の中的にみんな既にたくさん、触れていると思うので、便利さと危険性など授業 で取り扱って欲しい。
 - ⇒タブレットを日常的に使うようになって、ネットリテラシーや情報モラルの指導がより重要度を増しています。学年の発達段階に応じた計画的な指導と臨機応変な指導を合わせて行ってまいります。保護者の皆様にもご協力いただくこともありますので、よろしくお願いいたします。
- ○学校公開にて外国語、音楽、算数の授業も拝見出来たらと思っております。
 - ⇒今年度もできるだけ様々な教科の授業公開を行うようにしてまいりましたが、叶わない部分もありました。来年度も同じ方針で進めてまいります。ただ、ALTの勤務が土曜日は不可という縛りがあるので、ALTが入った外国語授業は難しいです。

- ○授業ももちろん大切ですが、子供の自主性を育て、達成感を得ることのできる学校行事をなくさないでいた だきたいと思います。
 - ⇒もちろんです。学校がそんなことをするはずはありません。ただし、子供の自主性を育て、達成感を得る という目標に向かう行事は、かつてと同じことを行うとは限りませんし、むしろ新しい形を探ってまいりま す。
- ○食育の項目がありましたので、少し述べさせて頂きますが、以前の校舎では給食室の中を子供たちが覗きやすく、かつ透明の窓を開けて調理の皆様とお話出来ることが楽しかったようなのですが、今回の校舎では白いドアになり完全に閉ざされたことを残念がっています。この交流はかなりよい食育だったのかなと思いますので、何か今後代わりになることが出来たら良いと思います。
 - ⇒もっともなご意見です。他の新築の学校はほぼ給食室が見えないような造りになっているとも聞いています。コロナ禍で給食調理員は子供たちと直接触れ合ってはいけないと言われていたのですが、今後は緩和されるはずですから、できることを考えてまいります。
- ○低学年で感じる事は、様々な対応が必要な子が増えていてクラス担任だけでは心配に思っています。もちろん先生は熱心にやって下さいますが先生の負担が多すぎている様に感じます。問題があった時に柔軟に対応が出来る様な教育活動の改善が有ればいいです。
 - ⇒多くの幼稚園、保育園から本当に多様な子供たちが入学してくるわけですから、本当に1年生は大変です。幼保小の連携による情報共有、スタートカリキュラムを適切に実施しつつ、教育活動を工夫してまいります。さらに、保護者の皆様のご協力もいただけたら幸いです。

○土曜登校について

秋の学校公開が月2回の頻度で土曜日に開催されることで家庭への負担が大きいと感じています。 学校公開の機会が多いのは良いことなのですが、土曜日に登校することの負担が親子共に大きいです。 土曜日の登校は月一回までの頻度だと助かります。

- ⇒学校も全く同じ反省をしました。来年度は、学校行事も基本的に第二土曜日を活用して計画しています。
- 3 その他のご意見
- ○保護者会について

主にプリントを読み上げるだけの時間となると参加する意義に乏しいと感じてしまいます。

質疑応答や保護者からの一言タイムを設ける(全員が難しければ出席番号前後半などで回を分けて発言を募る)など、その場に参加することの意味が感じられる運営になると尚良いと思います。

○zoom 運用について

zoomでの参加が可能になったのはとてもありがたく続けていって欲しいと強く願います。

- 一方で、先生方も大変かと思いますが、zoom運営のスキルが不足しているように思えます。
- 具体的には、保護者で慣れていない方がミュートにできていなくて生活音が入ってきての保護者会となり、 聞き辛い時間がありました。
- ○個人面談の時間が、20分くらいになるとありがたいです。
 - ⇒可能なことは改善してまいります。ホスト側からの一斉ミュート操作など行ってまいります。

- ○学校への忘れ物を学校に取りに帰ることを可能として欲しい(宿題、水筒、上靴など持ち帰らないと困るものもある)。
- ○学校に忘れ物をした際、 放課後に取りに行けないことについて。

学校に忘れてくる我が子に責任がありますが、「忘れたら仕方ない」と諦めることを学ばせているように感じます。放課後親と取りに行き、皆さんに迷惑かけるという経験から、「次はしないようにしよう」という学びに繋がるのだと感じます。<u>主事室の方や先生方にご迷惑かけることにはなりますが、子どものために必要なことであると思う</u>ので、検討していただけたらと思います。

⇒申し訳ありませんがそれはできません。困ることを経験し、困らないように自己の行いを直していくことが大切です。その時は諦めることもあるかもしれませんが、それを学ばせることは目的ではなく過程です。 学校の職員に迷惑をかける経験はしなくても良いです。また、1つ1つは小さなことですが、学校から余分な業務を減らすことにご協力をお願いいたします。

- ○学校だけの判断ではどうすることもできないのかもしれませんが。タブレット学習について低学年には正直 あまり必要性を感じられません。アルファベットのパスワードも覚えられないような状態です。なにより、 タブレットと言いながらとても重たく大きい端末なので通学距離が長めの子にとっては更に負担が大きいで す。タブレットがなくても重いランドセルですがタブレットがある日は登校前に必ず重くてランドセルが痛 いと弱音を吐いています。せめて重たい端末はなんとかならないのでしょうか。
 - ⇒3年計画で導入する計画であったタブレットを、文科省はコロナの影響下で急遽1年で導入することに舵を切りました。練馬区はコストパフォーマンスと堅牢さ、扱いの易しさ等を鑑みて「chrome book」に決めました。本当に、重さがネックです。1年生は毎日の持ち帰りをさせてはいないはずなので、そこはご理解ください。置き勉を推奨し、重い教科書等を不必要な時に運ばないようにするしか今のところ方策はありません。あとは元々重いランドセルを何とかすることも場合によっては考えることも必要かと思います。タブレットはまだ導入期で、効果をほとんど感じられないという方もいらっしゃるとは思いますが、今後もっと当たり前の存在へと変化していけば、1年生でも使う価値を感じられるようになると考えています。
- ○学校から配布される文書の日本語が正しく無い。配布前に中学校の国語の先生に添削をお願いして欲しいくらいです。ビジネスマナー講習など、一般企業が行なっているような研修活動を取り入れることをおすすめします。
 - ⇒ご指摘を真摯に受け止めて精進します。
- ○東京で採用する教員は東京式のアクセントが話せる人だけにして欲しい。家庭や周辺地域での通常会話が困難になります。
 - ⇒差別や偏見を決して許さず、多様性を認め合える社会の一員を育てていくことが、教育の大きな目標の一つです。全ての保護者の皆様にも是非ご理解をいただきたいと考えております。
- ○コロナの影響だけでなく、教員の労働環境も考えて、運動会や学芸会もなくした、とおっしゃっていましたが、余裕ができた分、子供たちに還元されているのでしょうか?教員に余裕ができただけなのでしょうか?⇒下線部のようなことを学校から発信したことはありません。自由記述と言っても、このような質問は学校改善につながるとは思えません。よく考えてからお書きください。

- ○新校舎ですが、良いとは思えず、校庭も狭くなり、子どもたちにとって、以前よりよくなったことがあるのでしょうか。
 - ⇒校庭が狭くなったことに関しましては、全く同感です。旧早稲田通りの拡幅予定、石神井川の治水工事、 幅広の校舎によって、校庭の面積が相当狭くなりました。単純にそのことは本当に残念です。ただ、過去は 良かったと言い続けても意味はありませんので、今の環境でより良い方向に向かって進むのみです。
- ○数年前より教職員の笑顔が少ないように思います。行事が少なくなったため、笑顔を見られる機会が減った だけなのかもしれませんが、雰囲気が悪いのかと勘ぐってしまいます。
 - ⇒コメントのしようがありません。石小の教職員はチームワークよく笑顔で仕事をしていると思います。
- ○来年近隣にできる大型マンションによって、学校環境が変わる事を懸念しております。
- ○情報発信に関連…新設中の大規模マンションについて、入居者が一度に石神井小へ転入した場合の対応が知りたいです。石神井小だけで受け入れる余裕があるのか、在籍児童への皺寄せがないのか、など気になっています。受け入れ人数の見込みや学校としての準備体制について、ぜひ情報発信をお願いいたします。
 - ⇒石小の学区域ですので、区立小学校に入学する予定のお子さんは原則石小に入ります。令和5年度のみ、 2学期途中で相当数の転入児童が入る見込みです。心配される方は多いと思います。学年ごとの人数は随時 販売会社から情報を得る予定ですが、それを公表することは差し控えます。4月当初の学級数でスタートし ますので、1クラスの人数が増えることになります。*現在も販売進行中

令和6年度からは年度当初から児童数に応じた学級数でスタートします。クラスが増えれば校舎の教室配置が変更になると思われます。

- ○登校する通学班があると安心できるのだが…。特に氷川神社の向こう側からは人気が少ないのでそのエリア だけでもあるとたすかる。
 - ⇒石小は登校班を作らずにこれまでやってきました。登校班のメリットは多いですが、保護者の方々への負担は相当にかかります。学校からアクションは起こしませんが、PTAの校外委員会に提起していかれるのも一案です。
- ○今年度以降の運動会開催について。

校庭が狭いなどの理由で、開催が難しいとの話がありましたが、近隣の校庭などをお借りして、開催を前向 きにご検討いただきたいです。

運動会は学校生活において、とても重要なイベントだと思います。

⇒お気持ちはよく理解できます。しかしながら、学校は現状の環境資源を活用して教育活動を行っていくものです。ですから、現在の校庭を使ってどのような内容でどのように行うかを考えて体育的行事を実施してまいります。ちなみに、校舎改築中は2年間石中をお借りして実施しました。1 k m弱離れているので練習時の子供たちの移動の労力はなかなかのものでした。また荷物の搬出入はトラックをお借りして2往復。期間限定の企画だったからこそ皆で協力して頑張れました。*元々はコロナがなければ4年間石中で行う予定でした。

秋の「運動発表会」は令和5年度も実施予定です。実施内容からすると体育的行事に「運動会」というネーミングはなかなか付けづらいところです。ちなみに、春にもう一つ体育的行事を行う試みを計画中です。